

第2期いきいき健康大分市民21 目標一覧

※1 中間評価で目標値を見直した項目
 ※2 中間評価で同様のアンケート結果が得られない項目
 ※3 中間評価で類似の調査等を参考値として計上している項目
 ※4 計画延長により目標値を見直した項目

1 健康寿命の延伸と健康格差の縮小の実現

目標項目(大分市)		第2期策定時 (平成24年度)		中間年度 (平成28年度)	現状値 (令和3年度)	目標値 (令和4年度)	目標値 (令和6年度)	目標の 変更
1	日常生活に制限のない期間の平均	男性	77.50年	79.54年	80.44年	平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加	平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加	
		女性	80.32年	83.77年	84.56年			

2 主要な生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底

目標項目(大分市)		第2期策定時 (平成24年度)		中間年度 (平成28年度)	現状値 (令和3年度)	目標値 (令和4年度)	目標値 (令和6年度)	目標の 変更	
(1)がん	2	75歳未満のがんの年齢調整死亡率の減少(10万人当たり)		73.0	70.5 (平成27年)	59.1	70	54.9 (※4)	○
	3	がん検診の受診率の向上 胃がん	男性	1.9%	3.9%	(参考値) 5.1%	5.0%	5.0%	
			女性	2.7%	5.6%		5.0%	5.0%	
	4	がん検診の受診率の向上 肺がん	男性	20.5%	19.0%	(参考値) 16.1%	35.0%	35.0%	
			女性	22.0%	23.3%		35.0%	35.0%	
	5	がん検診の受診率の向上 大腸がん	男性	5.7%	7.3%	(参考値) 12%	15.0%	15.0%	
			女性	6.9%	12.3%		15.0%	15.0%	
6	がん検診の受診率の向上 子宮頸がん	女性	11.7%	14.1%	21.7%	30.0%	30.0%		
7	がん検診の受診率の向上 乳がん	女性	14.2%	18.4%	27.9%	30.0%	30.0%		
(2)循環器疾患・糖尿病・慢性腎臓病(CKD)	8	脳血管疾患の年齢調整死亡率の減少 (10万人当たり)	男性	43.1	29.5 (平成27年度)	29.4	29.0以下 (※1)	29.0以下	
			女性	20.9	16.5 (平成27年度)	16.0	16.0以下 (※1)	15.8以下 (※4)	○
	9	虚血性心疾患の年齢調整死亡率の減少 (10万人当たり)	男性	30.2	24.7 (平成27年度)	26.1	24.0以下 (※1)	24.0以下	
			女性	11.1	9.2 (平成27年度)	6.7	9.0以下 (※1)	5.6以下 (※4)	○
	10	高血圧の改善(収縮期血圧の平均値の低下)	男性	136.7	132.9 (平成27年度)	132.6	132.7	132.7	
			女性	132	129.2 (平成27年度)	130.2	128	128	
	11	LDLコレステロール160mg/dl以上の人の割合の減少	男性	12.2%	9.4% (平成27年度)	10.4%	9.0%	9.0%	
			女性	18.8%	15.3% (平成27年度)	15.7%	14.0%	14.0%	
	12	メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少	6,923人 (平成23年度)		6,313人 (平成27年度)	5,628	4,100人 (平成27年度)	4,100人	
	13	特定健康診査の実施率の向上	35% (平成23年度)		35.6% (平成27年度)	29.0%	60% (平成29年度)	60.0%	
	14	特定保健指導の実施率の向上	18.4% (平成23年度)		16.6% (平成27年度)	24.3%	60% (平成29年度)	60.0%	
	15	合併症(糖尿病腎症による年間新規透析導入患者数)の減少	9人		14人	(参考値) 25	13人 (※1)	13人	
	16	糖尿病治療継続者の割合の増加	53.4%		59.9%	—	63.0%	63.0%	
	17	血糖コントロール不良者の割合の減少 (HbA1cがJDS値8.0%(NGSP値8.4%)以上の人の割合の減少)	0.26% (平成23年度)		0.8%	0.8%	0.74% (※1)	0.74%	
	18	糖尿病有病者の増加の抑制	14,259人		14,125人	(参考値) 11,027人	16,013人	16,013人	

3 社会生活を営むために必要な機能の維持・向上

目標項目(大分市)		第2期策定時 (平成24年度)	中間年度 (平成28年度)	現状値 (令和3年度)	目標値 (令和4年度)	目標値 (令和6年度)	目標の 変更
(1)こころの健康	19 自殺者の減少(人口10万人当たり)	92人(19.5) (平成22年)	79人 (16.6) (平成26年)	66人 (14.2) (令和2年)	13.2以下 (平成33年) (※1)	11.6以下 (※4)	○
	20 ストレスを解消できる人の割合の増加	68.1%	75.8%	—	75%	75%	
	21 ストレスや悩みを相談したいと思った時には相談できる人の割合の増加	70.3%	71.5%	—	77%	77%	
	22 気軽に用事を頼める人が近所にいる人の割合の増加	54.1%	50.4%	—	60%	60%	
(2)次世代の健康	23 朝食を必ず食べる子どもの割合の増加(小学5年生)	86.8% (平成23年度)	79.0%	83.0%	100%に近づける	増加傾向へ (※4)	○
	24 1日30分以上の運動を週4日以上している子どもの割合の増加(小学5年生)	男子	72.7% (平成19年度)	87.4%	(参考値) 55.3%	増加傾向へ	増加傾向へ
		女子	51% (平成19年度)	78.2%			
	25 全出生数中の低出生体重児の割合	8.3% (平成23年)	9.0% (平成27年)	(参考値) 8.7%	減少傾向へ	減少傾向へ	
	26 肥満傾向にある子どもの割合の減少(小学5年生)	肥満度20~39.9%	8.4% (平成23年度)	7.9%	9.2%	減少傾向へ	減少傾向へ
		肥満度40%以上	2.5% (平成23年度)	2.8%	2.8%		
(3)高齢者の健康	27 介護保険サービス利用者割合の維持	17.9% (平成23年度)	17.7%	19.2%	現状維持 (平成29年度)	現状維持 (R4年度)	
	28 基本チェックリスト実施率向上による認知機能低下ハイリスク高齢者の把握率の向上	1.0% (平成23年度)	0.9%	—	10%	10%	
	29 ロコモティブシンドローム(運動器症候群)を認知している人の割合の増加	19.8%	36.8%	—	80%	80%	
	30 低栄養傾向(BMI20以下)の高齢者割合の維持	15.8% (平成23年度)	17.0%	16.3%	現状維持	現状維持	
	31 腰痛や手足の関節の痛みがある高齢者(65歳以上)の割合の減少	男性	55.5%	51.9%	—	50%	50%
		女性	57.6%	60.2%	—	52%	52%
32 地区の行事(祭りや清掃活動など)や公民館活動に参加する機会のある人の割合	男性	52.6%	(※2)	—	増加傾向へ	増加傾向へ	
	女性	53.9%	(※2)	—			

4 健康を支え、守るための社会環境の整備

目標項目(大分市)		第2期策定時 (平成24年度)	中間年度 (平成28年度)	現状値 (令和3年度)	目標値 (令和4年度)	目標値 (令和6年度)	目標の 変更
33	自分と地域の人たちとのつながりが強い方だと思う人の割合の増加	21.5%	24.5%	—	45%	45%	
34	健康や医療サービスに関係したボランティア活動をしている人の割合の増加	12.1%	(※2)	—	25%	25%	

5 食生活、運動、休養、飲酒、喫煙・COPD及び歯・口腔の健康に関する生活習慣及び社会環境の改善

		目標項目(大分市)		第2期策定時 (平成24年度)	中間年度 (平成28年度)	現状値 (令和3年度)	目標値 (令和4年度)	目標値 (令和6年度)	目標の 変更
(1) 栄養・食生活	35	20～60 歳代男性の肥満者の割合		30.8%	26.8%	—	28%	28%	
	36	40～60 歳代女性の肥満者の割合		17.9%	22.2%	—	17%	17%	
	37	20 歳代女性のやせの人の割合		17.7%	10.5%	—	17%	17%	
	38	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日がほぼ毎日の人の割合の増加		47.4%	53.2%	—	60%	60%	
	39	食塩摂取量の減少		9.8g	9.7g	—	8g	8g	
	40	野菜の入った料理を1日平均5皿以上食べる人の割合の増加		6.5%	3.4%	—	15%以上	15%以上	
	41	果物をほとんど食べない人の割合の減少		29.1%	33.3%	—	15%以下	15%以上	
	42	朝食又は夕食を家族と一緒に食べる「共食」の回数の増加		朝食+夕食=週平均9.4回 (平成23年度)	9.1回	—	朝食+夕食=週平均 10回以上(平成29年度)	朝食+夕食=週平均 10回以上(平成29年度)	
	43	食育推進や生活習慣病予防に取組む飲食店、外食産業や事業所(社員食堂・学生食堂等)の登録店数の増加		(参考値)1.4% (平成23年度)	6.0%	9.0%	10% (平成29年度)	10% (平成29年度)	
(2) 身体活動・運動	44	日常生活における歩数の増加 (20歳～64歳)	男性	6,217歩	7,109歩	—	8,000歩	8,000歩	
		女性	5,463歩	5,999歩	—	7,000歩	7,000歩		
	45	日常生活における歩数の増加 (65歳以上)	男性	5,738歩	5,132歩	—	7,000歩	7,000歩	
			女性	5,004歩	4,772歩	—	6,500歩	6,500歩	
	46	運動習慣者の割合の増加 (20歳～64歳)	男性	40.1%	39.5%	—	50%	50%	
			女性	32.7%	29.1%	—	42%	42%	
			総数	35.4%	33.5%	—	45%	45%	
	47	運動習慣者の割合の増加 (65歳以上)	男性	53.9%	54.4%	—	62%	62%	
			女性	58.5%	42.7%	—	67%	67%	
総数			55.9%	48.6%	—	65%	65%		
(3) 休養	48	睡眠による休養を十分にとれている人の増加		60.3%	81.6%	—	66%	66%	
(4) 飲酒	49	生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人(1日当たりの純アルコール摂取量が男性40g以上、女性20g以上の人)の割合の低減	男性	26.9%	18.0%	—	22.9%	22.9%	
		女性	38.8%	33.9%	—	33.0%	33.0%		
	50	未成年者の飲酒をなくす(15～19歳)	男性	0.0%	(※2)	—	0%	0%	
			女性	8.3%	(※2)	—	0%	0%	
51	妊娠中の飲酒をなくす		8.5% (平成23年度)	1.3% (※3)	0.6%	0%	0%		

目標項目(大分市)		第2期策定時 (平成24年度)		中間年度 (平成28年度)	現状値 (令和3年度)	目標値 (令和4年度)	目標値 (令和6年度)	目標の 変更		
(5) 喫煙・COPD	52	成人の喫煙率の減少		15.3%	15.8%	—	12%	12%		
	53	未成年者の喫煙をなくす (15～19歳)		男性	0.0%	(※2)	—	0%	0%	
				女性	3.3%	(※2)	—			
	54	妊娠中の喫煙をなくす		5% (平成23年度)	2.6% (※3)	1.0%	0%	0%		
	55	職場や家庭で分煙を実行する人の 増加		職場	20.9%	17.0%	—	100%	100%	
				家庭	20.0%	26.1%	—			
				職場家庭 両方	27.7%	35.6%	—			
	56	受動喫煙の機会を有する人の割合の低下		行政機関	5.8%	3.4%	—	0%	0%	
				医療機関	2.5%	(※2)	—	0%	0%	
				飲食店	25.2%	62.8%	—	5.0%	5.0%	
57	COPDの認知度の向上		47.2%	53.0%	—	80%	80%			
(6) 歯・口腔の健康	58	歯や口の中の悩みについて悩みや症状のない 人の割合の増加		28.7%	34.4%	—	35%	35%		
	59	80歳で20歯以上の自分の歯を有する人の割合 の増加		49.2%	46.2%	—	50%	50%		
	60	60歳で24歯以上の自分の歯を有する人の割合 の増加		53.5%	48.7%	—	70%	70%		
	61	40歳で喪失歯のない人の割合の増加		66.8%	79.0%	—	75%	75%		
	62	20歳代における歯肉に炎症所見を有する人の 割合の減少		11.6%	7.3%	—	11.0%	11.0%		
	63	40歳代における進行した歯周炎を有する人の 割合の減少		17.6%	24.4%	—	17.0%	17.0%		
	64	60歳代における進行した歯周炎を有する人の 割合の減少		37.6%	33.9%	—	37.0%	37.0%		
	65	3歳児のう歯保有率の減少		26.4% (平成23年度)	19.6%	11.7%	10%	10%以下 (※4)	○	
66	12歳児の平均う歯保有数の減少		1.9本 (平成23年度)	1.3本	0.8本	1.0本 (※1)	0.7本 (※4)	○		
67	定期的(1年以内)に歯科検診を受ける人の割合		37.1%	36.6%	—	65%	65%			